

voice ~ 利用者の声、届けます ~

私はグループホームに入居する前は、精神科病院へ入院していました。「早く退院したいな。」って、毎日考えていました。病院の相談員さんに手伝ってもらい、グループホームの説明や、実際に見学をしたら、自分の思っていた感じと違いました。毎日入浴や洗濯ができるし、当たり前のことですが入院中はできないので、できるようになる事が嬉しかったです。いい人ばかりで、好きな時に買い物にも行けるし、職員がいるので安心して生活できています。今は日中活動も利用し毎日楽しいです。退院してよかったです。

EMU ~ 軽作業増えました ~

開所から1年が経ち、調理部門以外の仕事も充実してきました。開所当初はお弁当に付随したメニューの印刷や箸袋作成しかありませんでしたが、現在では両面テープの封入、他社の箸梱包、名刺作成、法人内の施設管理など様々な作業を行っております。新茂原駅までの送迎も可能ですので、ぜひ”今のEMU”を見学にいらしてください。（森岡）

ヒュッゲ ~ 共同生活援助（日中サービス支援型）を開始して ~

長生圏域初となる日中サービス支援型での運営を開始しました。高齢化・重度化に対応ていきます。定員は5名と短期入所（併設型）1名になります。短期入所は緊急の受け入れ対応も行います。24時間対応する体制を確保し、利用者が昼夜間わず安心して生活が送れるよう支援します。相談・見学は常時受け付けています。（本良）

Facebook・Instagram始めました
社会福祉法人 ウィズ
shakaihukushihojin_with
フォロー・いいね！
お願いします

会員募集

この法人の目的に賛同し、この法人の活動に
援助する個人及び団体

年会費 一口1,000円（一口以上）

With 通信



社会福祉法人 ウィズ

千葉県茂原市木崎1300番地1

TEL : 0475-47-2600

令和3年6月発行



編集後記

4月より社会福祉法人となり、創刊号からわずか2ヶ月での発行となりました。どのような内容が良いのか、何を知っていただきたいのかと悩んでいる最中です。より良い広報誌をお届けできるよう広報委員みんなで力を合わせて頑張ります！（森岡）

ごあいさつ 社会福祉法人ウィズ 理事長 三好 恵里子

NPO法人ウィズから全てを引きつぎ、社会福祉法人ウィズとして事業が開始しました。理事会、評議員選任・解任委員会、評議員会、社会福祉法人としての事業申請、財産の贈与等と職員と共に駆け抜けた数ヶ月でした。

3ヶ月経ち社会福祉法人となって何が変わったか・・・まだ実感がありません。ただ、作成しなければならない書類が多いことに驚きながらも、その責任の重さを感じています。

最近、身体障害をお持ちの方のグループホームを探すことが数件重なり相談支援専門員たちは苦労しました。まだまだ地域には足りない資源があることに気付かされます。必要な資源が必要な人に届くように願い、当法人も地域で必要とされるようなハードとソフトを備えた法人を目指し、前進していきます。

職員研修（講師：安井飛鳥弁護士）

4月に弁護士法人ソーシャルワーカーズ副代表の安井弁護士を講師に迎え、児童に関する問題や司法・福祉両方の立場から感じることなどを話していただきました。法人内だけでなく関係各所からもZoomを含めてたくさん参加者が集まりました。児童虐待の実情、判断の難しさ、そして専門家に任せるだけではなく地域のみなさんで見守っていく事が必要であることを知ることが出来ました。仕事先だけでなく、自分の生活の中でも出来ることがあるのだと、気が引き締まる思いです。



職員の感想

司法や児童福祉にはあまり接点が無かったため、とても勉強になりました。これからも、積極的に研修に参加し、多くのことを学んでいきたいと思います。
(小林)

この研修で最も心に残ったことは「最終的に人を救うのは支援でなく、その人の生活者としての主体性を生むことである」というお話をでした。人の主体性とは何か、自分も持っているのかなど考えさせられる研修でした。
(瀧口)

活動報告



ウィズでは各事業所ごとに楽しめるイベントを開催しています。普段とは違う体験をしたり、仲間との絆を深めることができます。

じよいでは5月に中里海岸にヒラツメ蟹を取りに出かけました。残念なことに蟹は不漁に終わりましたが、今回の悔しさをバネにリベンジしたいとの声が聞かれ、来シーズンにはまた挑戦をしたいと思っています。この蟹は小さいものの味噌汁などになると、とても良い出汁が出るので、次回は蟹汁をみんなで味わいたいと思います。

まだひんやりと冷たい海水と日差しがとても気持ちよく童心に帰って、波と戯れることのできた1日でした。（佐藤）



ARUKUでは5月上旬に茂原公園に行き、お散歩や遊具で遊び気分をリフレッシュ！いつもは作業を頑張っているARUKUですが、この日は外で体を動かし、みなさんからは「自分たちで作ったお昼ご飯をみんなと一緒に食べることが出来ておいしかった。」

「外でお散歩をしたり、遊具で遊んだり身体を動かして気分転換ができた。」などの声が多くとても楽しく過ごせたようです。
今後はゲーム大会をやりたい、旅行に行きたい焼き肉を食べたい等の希望もあったので、ぜひ企画を練り開催したいと思います。（三好）

